



令和5年度

横浜市幼保小連携推進地区事業
深谷地区 活動報告（俣野保育園・深谷小学校）

★ ★ テーマ ★ ★

子どもの豊かな育ちと学びをつなぐ

幼保小の交流と連携



推進テーマについて



子どもの豊かな育ちと学びをつなぐ幼保小の交流と連携

「幼児期の終わりまで育ってほしい姿」をふまえて

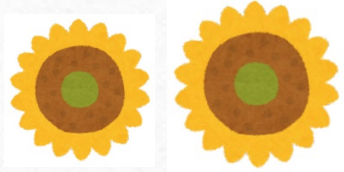
- ★保育園・幼稚園は、どのように学びに向かう力を育む保育・教育を行っているのか
- ★小学校は、どのような支援・指導を行うことで主体的な学びにつなげていくことができるのか

顔が見える関係作り

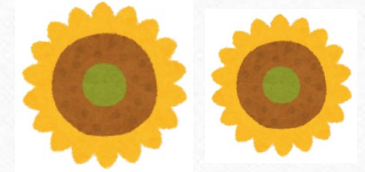
園児・児童の実態を知る

園児・児童の思いを生かした交流

子どもが安心して、のびのびと学ぶことを楽しみ、
人とのかかわりを大切にする主体的な学びに向かうことにつながる

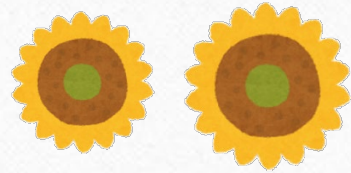


令和5年度の推進内容

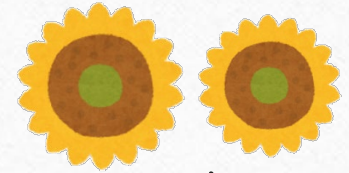


- 幼保小連携推進委員会をもち、推進テーマの確認をし、前年度の取組を踏まえて年間計画を立てる。
- 幼保小連携推進委員会を重ね、研修会や交流を継続することを通して研究内容を深める。
- 研修内容を生かした保育参観、授業参観、授業研究会を行う。
- 成果と課題をまとめ、目指す児童の姿に近づくような更なる手立てをとともに考える。





連携推進地区事業の実際



- 第1回目の交流会では、俣野保育園の年長園児と深谷小学校1年生が、深谷小学校にて、初の顔合わせ交流会を行う。なかま集めゲームなどをして遊んだ後、広い校庭で遊具遊びなどを楽しむ。
- 第2回推進委員会で、交流活動の振り返り、各園・各校の現状についての情報交換・次回以降の交流計画の確認を行う。
- 小学校教員が俣野保育園の保育参観、保育実習をし、アプローチカリキュラムの実際を知る。
- 保育園の運動会を参観するなど、各園・各校の支援・指導、子どもの育ちの様子を知る。
- 第2回目の交流会では、1年生と秋の実などを使った手作りおもちゃで一緒に遊んだ後、好きな遊びを選択して3年生と遊ぶ。
- 第3回目の交流会では、1年生が園児に学校のことを伝えたり学校案内を行ったりする。カプラや昔遊びなどを一緒に楽しむ。



第1回目の交流会のようす（6月）

「深谷小へいこうよ！」
なかま集めゲームでなかよくグループになりました。



小学校体育館で、交流を行いました。まずは自己紹介ゲームから始まり、いろいろなゲームを通して少しずつ緊張がほぐれていきました。年長児を相手に、優しく声をかけてグループに誘う1年生の姿や、みんなで一緒に鬼ごっこを楽しむ姿がありました。



「さようなら、また会おうね。」
初めての交流会は、互いに少し緊張の面持ちでした。



「バナナおに」
1年生がおにごっこを紹介しました。

第2回目の交流会のようす① (11月)

1年生が秋探しで集めた落ち葉やどんぐりなどを使った楽しい手作りおもちゃやさんを开店し、園児に楽しんでもらいました。1回目の交流活動を振り返り、さらに相手意識・目的意識をもった交流会を計画・運営する1年生の成長した姿が見られました。



どんぐり楽器やさん



どんぐりめいろ



どんぐりシューティング



どんぐりころがし

第2回目の交流会のようす② (11月)

3年生との交流



同じ遊びをした園児にプレゼントを渡しました。

後半は3年生と自由遊びをしました。総合的な学習の時間の一環として、地域の様々な人との交流を行っている3年生が、俣野保育園の園児と一緒に遊ぼうという企画を立てました。「だるまさんの一日」「お絵かきコーナー」などを作って、楽しんでもらおうと張り切っていました。



第2回推進委員会（7月）



- 第1回目の交流活動の振り返り
- 保育園と小学校の園児・児童の実態や思いについての情報交換
- 育てたい子どもの姿について意見交換
- 今後の交流活動や参観についての具体的な計画

相互に共有

（保育園の希望意見から・・・）

- ・ 自然とふれあえるもの
- ・ 児童の実態から、最初に緊張がほぐれるような活動を入れる。

◎子どもたちの思いや願いを大切にして
交流活動に取り入れていこう！

保育参観（7月）



暑い日、氷を触って感触遊び

学びの場を大切に活動の充実

触って遊んでいるうちに、氷が姿を変えていくことに気が付いていました。



年齢に応じて工夫された遊びの場づくり

小学校の教員が俣野保育園の保育参観に行きました。園児の普段の生活の中での学びの姿、保育園のアプローチカリキュラムの実際を知ることができました。小学校でのスタートカリキュラムの参考となる園児の姿、保育のしかたを参観することができ、有意義なものとなりました。

体を動かすのが好きな年長児、エビカニクス！

保育実習（中堅研修）（7月）



夏季休業期間を利用して、深谷小職員が保育実習を行いました。中堅研修（企業研修）の一環として、俣野保育園にて実習を行いました。

朝のしたく、外遊び、給食、お昼寝など、小学校入学前の児童の様子や、幼児期の保育の様子を体験し、小学校での児童理解に生かしました。

園や学校の行事参観

10月
俣野保育園運動会に校長が参加、
深谷小スポーツフェスティバルに
園長が参加

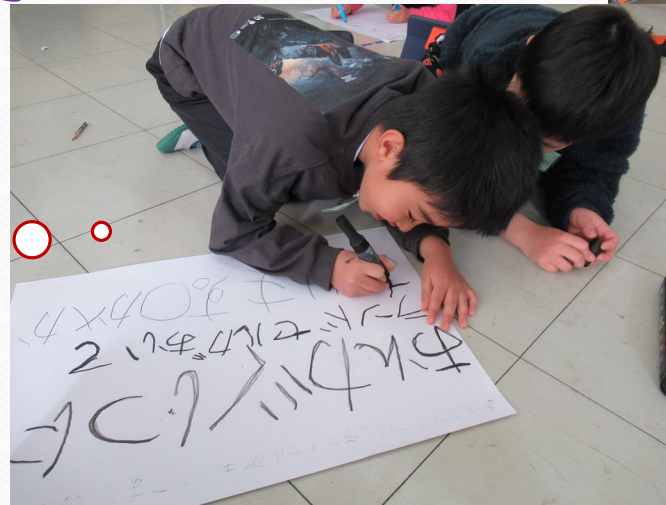


最後の交流に向けて（1月）

【1月】

- 第3回交流会の準備
 - ★年長園児に小学校のことを伝える活動
 - ★グループごとの学校案内
 - ★自由遊び（昔遊びなど）

学校探検で学んだ
ことをクイズにし
よう！



今度は自分たちの好
きな曲からスタート
したい！

第3回目の交流会のようす（1月）

前回の成果を生かして体を動かす遊びからスタート！緊張がほぐれ、笑顔いっぱい踊りました。



学校探検！
1年生がリードしながら園児を案内し、大満足。案内が難しかったと感じた子もいました。

園児たちはランドセルを背負ってみたり、大きな楽器を演奏してみたりしました。
「好きな子ができた。」「深谷小に行きたい。」と、入学への期待を膨らませました。



最後の自由遊びでは、カプラやこま回し、おはじき、あやとりなど、園児と1年生が一緒になって遊ぶ姿が多く見られ、互いの仲が深まりました。





これまで成果と課題



★成果★

- 直接顔を合わせたの推進委員会やZoomでの話し合いを行い、子どもの思いや育てたい資質・能力の共有化を図ったり交流計画を具体化したりすることができた。
- 普段から親しんでいる遊びなど体を動かすことから交流活動を始め、前年度より自由遊びを増やしたことで、緊張がほぐれて互いに進んでかかわり、園児も1年生も楽しんでいた。交流を通して、園児は入学への期待が高まり、1年生は自信や自己肯定感が高まった。
- 交流活動や相互参観を重ねたことにより、顔の見える関係を築き、子どもの育ちや学びの実態を知り、接続期のカリキュラム作りに生かすことができた。

★課題★

- 互いの名前を呼び合える関係までには至っていない。早い段階で交流グループを決定するなどして、仲がより深まるようにしていきたい。
- 今年度は1年生に加えて、3年生との交流も試みたが、やや難しい面が見られた。学校全体で推進事業を振り返り、交流学年・交流内容や時期などを検討し、次年度に生かしたい。
- 問題解決的な学びがやや不十分である。子どもの思いや願いをもっと引き出し、問題解決ができたときの達成感や成就感を味わうことができるようにし、自分の成長を実感させられるようにしたい。